

第24回 手術の未来

2025.3.17 日 18:00 - 20:00

外科医と企業の連携によるイノベーションをめざして

原発性悪性骨腫瘍は成長期に好発する希少がんであり、診療経験を持つ医師に限られるため、一般の整形外科医にとって初診時の診断は困難な課題となっています。そこで、私たちはAIを活用したX線画像読影システムの開発を進めており、原発性悪性骨腫瘍に特異的な陰影を検出し、診断を支援するシステムの実用化を目指しています。最終的には、医療機器としての薬事承認を取得し、臨床導入を目標としています。さらに、骨・軟部腫瘍領域におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、大規模言語モデル(LLM)を活用した専門特化型のチャットボットを開発しています。このAIチャットボットは、質疑応答を繰り返しながら適切な回答を生成し、診療支援の一助となることを目指しています。また、患者同士が交流し情報交換ができるメタバース空間の構築も計画しており、全国の患者がつながる新たな支援の場を提供することを目指しています。本セミナーでは、AIを活用した骨腫瘍診断支援の最新の研究成果や、今後の展望についてご紹介します。

本研究会の光嶋 勲会長(広島大学病院 形成外科 教授)からは、招待講演に関連する最新知見、世界の動向をご紹介します。講演後、登壇者とのパネルディスカッションは好評で、Q&Aを通して登壇者と対話ができる活気あふれるオンライン講演会です。ぜひご視聴ください。

企業の皆様、本研究会は次世代のスーパーマイクロサージャリー実現に向けて医の巨匠と企業とのコラボレーション創出を推進しています。医療イノベーションを志す企業の皆様は、ぜひこの機会に講演会へご参加ください。ご登壇いただいた医師とのご面談を希望の企業の皆様へ面談支援も実施しております。お気軽にご相談ください。



オープニング講演

スーパーマイクロサージャリー最新の知見 24

— スーパーマイクロサージャリーによる骨軟部組織再建 (動画供覧) —

光嶋 勲 氏 広島大学病院 形成外科 科長
国際リンパ浮腫 治療センター 寄附講座 教授

招待講演

AIによる骨腫瘍X線画像読影システムの開発と最近の取り組み

尾崎 敏文 氏 国立大学法人岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (医学系)
整形外科学教室 教授

1987年3月	岡山大学医学部医学科卒業
1991年3月	岡山大学大学院医学研究科(整形外科学専攻)修了
1991年4月	岡山大学医学部附属病院医員
1993年7月	ドイツ政府給費留学生としてミュンスター大学整形外科で研修
1996年10月	岡山大学医学部附属病院助手
1999年6月	フンボルト財団研究員としてミュンスター大学整形外科で研修
2002年6月	岡山大学医学部附属病院整形外科講師
2002年10月	Habilitation (ハビリタチオン): ドイツ語圏の大学での整形外科教授資格取得
2005年6月	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体機能再生・再建学講座(整形外科学)教授
2011年4月	岡山大学病院卒後臨床研修センター医科部門長(〜2013年3月)
2013年4月	岡山大学病院 副病院長 (教育担当)
2016年4月	岡山大学病院 副病院長 (研究: 国際担当)
2017年4月	岡山大学病院 副病院長 (診療担当) (〜2019年3月)

◆ 参加費とお申込み: <https://cpk.jp/reg/2>参加費: 企業・公共機関など団体様は、1人15,000円、2人28,000円、3人40,000円
※お得な回数チケットもございます。事務局へお問合せください。

* 医療従事者、アカデミア、学生(社会人学生を除く)は無料です。

◆ 事務局: 一般社団法人みらいメドテック | E-mail: info@ikou-funding.com | <https://ikou-funding.com>